

体感型ショールーム『ハイムギャラリーパークみなと』オープン

- 「スタディーギャラリー」「モデルルーム」からなる複合型ショールーム
- VRやARなど家づくりを学ぶための体感型設備を充実

2018年5月22日
セキスイハイム中部株式会社

セキスイハイム中部株式会社(本社:名古屋市東区 代表取締役社長:吉田匡秀)は、5月26日(土)、従来の当社住宅展示場とは異なる、体感型ショールーム『ハイムギャラリーパークみなと』を、中京テレビハウジングみなと(名古屋市港区)内にオープンします。

当社は、中部・北陸エリア(愛知、岐阜、三重、石川、福井、富山各県)のセキスイハイム販売会社として、すでに44店の住宅展示場や住宅生産工場(見学会)などを拠点として情報発信を行ってきました。今回オープンする『ハイムギャラリーパークみなと』はこれまでの情報発信を行ってきた当社の拠点とは異なり、VR(Virtual Reality、仮想現実)やAR(Augmented Reality、拡張現実)などを用いた体感型施設です。セキスイハイムの3階建住宅「デシオ」の最新モデルを建屋のベースとした、「スタディーギャラリー」と「モデルルーム」からなる複合型のショールームです。

『ハイムギャラリーパークみなと』では、住宅建築を検討されているお客様に、まず家づくりに関する一般的な知識を学んでいただき、そのなかで、ユニット工法のセキスイハイムの位置づけ、特長をご理解いただけます。お客様にご納得いただきながら説明を進めることで、お客様満足度の向上を目指します。

『ハイムギャラリーパークみなと』の概要

■「スタディーギャラリー」「モデルルーム」からなる複合型ショールーム

「スタディーギャラリー」は、「家はシェルターZONE」「一生モノ工場ZONE」「スマートハイムZONE」の3つのZONEから構成される、映像システムを複数導入した体験型のスペースです。

「モデルルーム」は、最新トレンドの間取りや設備・仕様の提案だけでなく、快適な暮らしのための空調システムを体感していただき、その仕組みを確認いただけるスペースです。

■VRやARなど家づくりを学ぶための体感型設備を充実

1. 臨場感あふれる体験を可能にする先進のプレゼンテーションシステム

住宅建築を検討されているお客様に、家づくりにおいて重要なことをわかりやすく、記憶に残る形でご理解いただくために、体感音響シアター、VR、ARなど、先進のプレゼンテーション設備を複数導入。

2. 大地震に備える強く確かな家づくりを学ぶ

当社販売エリアにおいて関心の高い巨大地震への対策や家づくりにおける減災のポイントについて、映像システムだけでなく、構造部材の現物や模型などを用いて解説します。

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

スマートハウスの知識や現状、そして将来の発展性について、AIスピーカー等も活用した対話型コンテンツにより、暮らしや住まいとエネルギーのあるべき姿について理解できます。

■施設概要

◎名称: ハイムギャラリーパークみなと

◎グランドオープン: 2018年5月26日(土)

◎所在: 名古屋市港区港明1-10-17 中京テレビハウジングみなと 内

◎休日: 毎週火曜日・水曜日 (他、中京テレビハウジングみなとの定休日に準じます。)

※原則として、自由にご見学いただけますが、一部、ご予約者優先の見学コーナーもあります。

『ハイムギャラリーパークみなと』のねらい

失敗のない家づくりのためには適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。

『ハイムギャラリーパークみなと』では、家づくりに必要な一般情報・客観情報を整理し、わかりやすい形で提供することで、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートいたします。

一般の消費財やサービスと、住宅の購買方法の違いを理解いただきながら、セキスイハイムの建築手法である工場生産・ユニット工法について共感をいただく説明など、新しい営業スタイルにも取り組み、お客様満足度を高めていきます。

『ハイムギャラリーパークみなと』の構成—「スタディーギャラリー」「モデルルーム」からなる複合型ショールーム

「スタディーギャラリー」における住宅性能などのハード面の説明と、「モデルルーム」におけるインテリアやプランなどのソフト面の提案を連続的に行うことで、論理的訴求と感覚的訴求のかけ合わせによる深みを持たせました。

1. 「スタディーギャラリー」

「家はシェルターZONE」「一生モノ工場ZONE」「スマートハイムZONE」から構成される、映像システムを複数導入した体験型のスペースです。

家はシェルターZONE(1階): 当社販売エリアにおいてお客様の関心が高い、地震に強い家の基準をご理解いただくためのプレゼンテーションを特に強化しました。中部・東海エリアで今後30年の間に70-80%※1の確率で発生すると予測されている南海トラフ地震に備える減災の住まいを考えるための多面的な情報提供と体感装置を拡充させました。

一生モノ工場ZONE(2階): セキスイハイムの特長である工場生産やユニット工法について説明します。工場生産による品質・性能の確かさや、長期にわたってお住まいいただくための品質保証やコストメリットを解説します。

スマートハイムZONE(3階): スマートハウス No.1を目指すメーカーとして、理解が難しいとされているスマートハウスの経済メリットや環境貢献効果、さらには減災への有効性の解説にも積極的に取り組んでいます。

2. 「モデルルーム」

最新トレンドの間取りや設備・仕様を提案しています。40代のご夫婦+お子様2人、インテリアへのこだわりや社交性の高いご家族を想定し、おもてなしのパブリック空間、プライベートな時間を充実させる空間を設計(右写真)。ホームエレベーターや半屋外空間「うちそとテラス®」、フィットネスルームもプランニングしています。

また、お客様の計画中の間取りを3Dシミュレーションで確認できる「アルファス※2」システムのプレゼンテーションルームも設置しました。新居のイメージを見える化し、理解いただくことで、お住まいになってからの満足度も高めます。



▲「モデルルーム」リビング内観

※1 平成30年2月9日地震調査研究推進本部地震調査委員会「長期評価による地震発生確率地の更新について」より

※2 アルファス:株式会社ワイドソフトデザインが開発した計画中の間取りを立体的にシミュレーションできるシステム

『ハイムギャラリーパークみなと』の特徴—VRやARなど家づくりを学ぶための体感型設備を充実

1. 臨場感あふれる体験を可能にする先進プレゼンテーションシステム

『ハイムギャラリーパークみなと』で装備した、先進の体感型設備は以下の5つです。

①**巨大地震体感音響シアター**:南海トラフ巨大地震のシミュレーション動画などで構成された映像を大音響と体感振動により臨場感をもって体験いただくことで、減災住宅の重要性・必要性を理解いただけます。

②**ハイムユニットVR**:当社ショールーム初のヘッドマウント型の360° VR体感装置を導入しました。仮想空間に入り込み、建物の仕組みや構造、建築工程を見ることができます。

③**快適エアリーAR**:当社独自の空調システム「快適エアリー」の特長である、均質な温熱環境、床面のあつたか、清浄な空気の流れなどを、実際の居室上で「見える化」します。

④**対話型コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」**:社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係を、対話型の図解コンテンツで解説します。

⑤**未来型スマートハイム体感**:スマートハウスのメリットを、AIスピーカー、プロジェクションマッピング映像を使い、キャラクターと対話しながら生活体験していただけます。



▲巨大地震体感音響シアター



▲ハイムユニットVR

360° VR体感装置により、普段は見ることのできない建物の仕組みや構造、建築工程を体験いただけます。



2. 大地震に備える強く確かな住まいづくりを学ぶ

大地震に備える減災の家づくりのポイント解説を充実させました。「家はシェルターZONE」では、音響体感シアター、ハイムユニットVRを活用するほか、説明パネルや模型・部材などを用い、日本の主な住宅建築の構造・工法を紹介します。

一連の説明ストーリーを通じ、施工・基礎・構造の3要素をしっかり理解することが、強く確かな住まいを選ぶために重要である、という気付きを促します。

3. 未来の暮らしと今選ぶべきスマートハウスを学ぶ

未来の暮らしとスマートハウスの知識や今後の発展性について3つのパートにわけて解説します。

①**暮らしの進化年表**:1964年東京オリンピックから、2020年東京オリンピックまでの技術の進化と暮らしの変化、その延長線上にスマートハウスがあることを認識していただけます。

②**対話型コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」**:社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係、現状と未来について紹介しています。電力価格の上昇リスク、自然災害と停電の関連性の他、ZEH^{※3}の必要性、電力の自給自足、EV(電気自動車)の活用、スマートコミュニティ、スマートグリッドなどについて、映像と音声でわかりやすく解説します。

③**未来型スマートハイム体感**:セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」で実現可能なHEMS^{※4}制御(ためる、つかう)や、将来の拡張性などについて一日の暮らしを再現する寸劇風プレゼンテーションで親しみやすくお伝えします。



▲スマートハイムZONEの対話型コンテンツ

「これからの暮らしとエネルギー」壁面のイラストにタッチすることで、プロジェクションマッピングによる説明がスタートします。



▲家はシェルターZONE

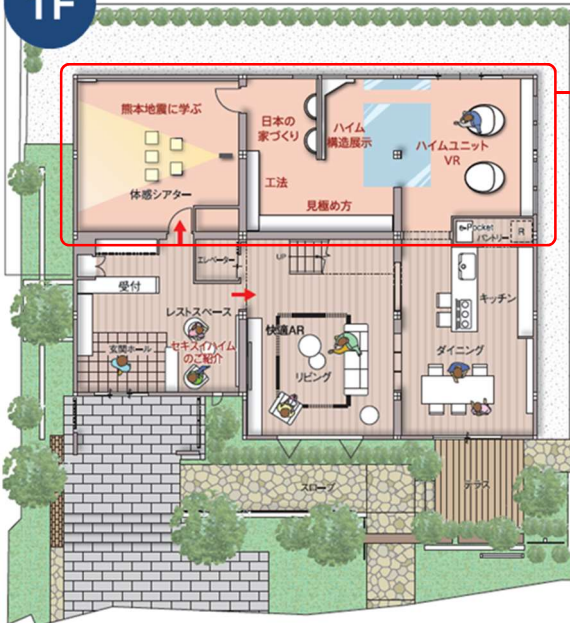
説明パネルや模型などで強く確かな家づくりのための基準を解説します。

※3 ZEH: ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

※4 HEMS: コンサルティング型ホームエネルギー管理システム「スマートハイム・ナビ」

『ハイムギャラリーパークみなと』フロアガイド

1F



スタディーギャラリー 1階

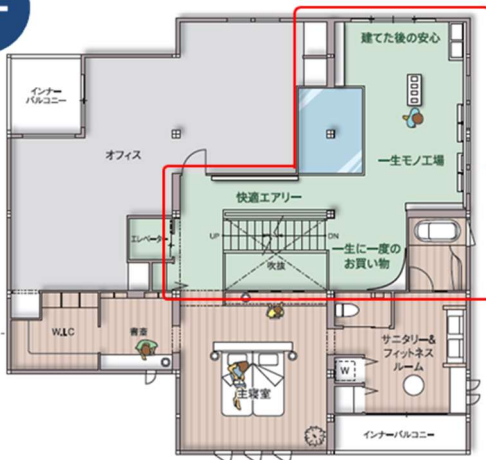
家はシェルターZONE

- 住まいづくりについての一般的な知識・基準を、各種映像システム・説明パネル・模型・構造実物などを通じ体感しながら学ぶスペースとなっています。
- ▶巨大地震体感音響シアターで減災住宅の重要性・必要性を理解いただけます。
- ▶日本の家づくりコーナーで、建築工法、構造別選び方基準などを解説します。
- ▶壁を透過し『ハイムギャラリーパークみなと』の建屋の構造体の実物を確認することができます。
- ▶ハイムユニットVRで建物の仕組みや構造、建築工程を見ることができます。

モデルルーム 1階

- おもてなしのパブリック空間(LDK)を設けました。
- ARにより、独自の空調システム「快適エアリー」の性能を見える化しました。

2F



スタディーギャラリー2階

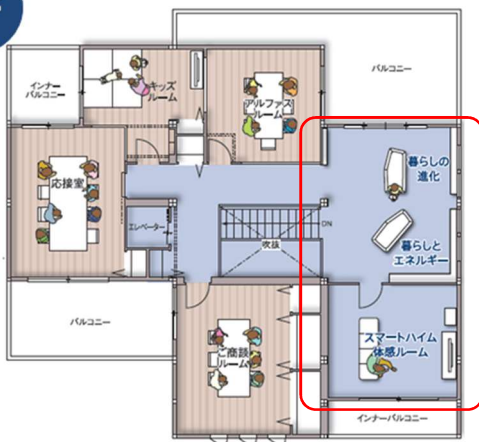
一生モノ工場ZONE

- セキスイハイムの特長である工場生産・ユニット工法について説明します。
- 高度工業化技術により、もたらされる品質・性能の確かさや長期にわたる品質保証やコストメリットをわかりやすく解説します。
- 一般の消費財やサービスと、一生に一度の住宅の購買方法の違いなどもお伝えし、その中で、当社の工場生産建築手法のメリットを理解いただけます。

モデルルーム 2階

- 寝室・書斎やフィットネススペースなど、プライベート空間を充実させました。

3F



スタディーギャラリー3階

スマートハイムZONE

- 住まいの未来について、「スマートハウス」を軸にしてわかりやすく解説します。
- ▶暮らしの進化年表で、通信や移動、生活の観点で時代背景とともにテクノロジーの進化を紹介し、スマートハウスがその延長線上にある未来住宅であることの理解を促進します。
- ▶対話型コンテンツ「これからの暮らしとエネルギー」で、社会・暮らし・住まいとエネルギーの関係を紹介します。
- ▶「未来型スマートハイム体感」コンテンツにより、現在のスマート性能、将来の拡張性を解説します。

モデルルーム 3階

- 計画中の間取りを3Dシミュレーションで確認できる「アルファス」システムルームの他、商談用プレゼンテーションルームやキッズルームを備えています。

『ハイムギャラリーパークみなと』 ショールーム外観とロゴ

■地上3階建て 延床面積 427.15㎡ (1階 149.68㎡、2階 155.43㎡、3階 122.04㎡)



ハイムギャラリーパーク

Heim Gallery Park

| MINATO |

参考 [セキスイハイム中部 株式会社 会社概要]

◎設立 1985年3月

◎資本金 3億円(積水化学工業株式会社 100%出資)

◎代表者 代表取締役社長 吉田匡秀(よしだまさひで)

◎売上高 428億円(2018年3月決算)

◎従業員数 640名(2018年4月現在)

◎事業内容

1.ユニット工法住宅の販売・設計・施行管理 「セキスイハイム」(鉄骨系)・「ツーユーホーム」(木質系)

2.その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般

3.宅地分譲等不動産取引

◎事業所

本社(名古屋市)、名古屋支社、名古屋西支店、名古屋北支店、南営業部、名古屋東支店、豊橋営業部、分譲営業部、特販営業部、北陸支店、岐阜支店、三重支店

◎展示場 愛知エリア 26拠点、岐阜エリア 8拠点、三重エリア 7拠点、北陸エリア 3拠点(2018年5月現在)

◎グループ会社 セキスイファミエス中部株式会社

◎本社所在地 〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3(NHK名古屋放送センタービル 8F)

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム中部株式会社

〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜 1-13-3(NHK名古屋放送センタービル 8F)

本社 営業統括部 企画部 三宅 竜雄、後藤 幸士 TEL:052-955-8935